

フキノトウ

フキノトウはフキの花茎のつぼみで、早春、まだ葉が出る前にフキノトウだけが独立して地上に出てきます。雌雄異株で、球状で、多数のうろこ状の包葉に包まれ、開くと多数の頭花が現れます。只見の方言では、フーキントや、フーズキボッコ、フーズキサブローなどと呼ばれています。



只見では、頭花が黄白色の雄花をアワ、白色の雌花をコメと呼び、どちらかという、苦味の少ない雄花が好まれるようです。つぼみのものを、そのまま天ぷらにしたり、おひたしや酢の物、フキノトウ味噌などにします。独特の香りとほろ苦さが、春の息吹を感じさせます。

特別展示

○只見を再発見する ～「自然首都・只見」展～
只見町の自然・文化・生活を、パネル展示で紹介いたします。
期 間：4月20日(金)～7月16日(祝)まで

※この広報紙は再生紙を使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。誠にありがとうございます。いただきました支援金については、災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

支 援 金 6,378,934円 (55件)
4月9日現在